

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	年 月 日
住所（法人にあつては、主たる事務所の所在地） 京都府宇治市横島町十八番地	氏名（法人にあつては、名称及び代表者の氏名） 株式会社ヤクルト本社 京都工場 工場長 土井明文

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	ISO14001
適 用 範 囲	株式会社ヤクルト本社京都工場構内
導 入 年 月 日	1999年 10月 29日
認 証 番 号	JQA-EM0569
基 本 方 針	工場内に「環境推進委員会」を設置し、この施策のもと事業活動に伴う環境問題に積極的かつ継続的に取り組む。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	廃棄物削減：2009年度比0.08%削減目標に対し 0.09%削減が図れた。 CO2削減：2009年度比0.04%削減目標に対し 0.08%削減が図れた
目標を達成するための取組の内容	①グリーン商品を購入する ②地域社会における環境保全活動を行う ③工場見学者に対し環境教育を行う ④エネルギー設備に対する省エネパトロールを実施する ⑤配管内残液回収の標準化 ⑥工程見直しによる待機時間の短縮
目標を達成するための取組の進捗状況	①グリーン商品を購入する⇒6品目増加 ②地域社会における環境保全活動⇒年3回の通期清掃実施 ③工場見学者に対し環境教育を行う⇒環境への取り組みを説明（2500人以上） ④省エネパトロールを実施する⇒毎月実施 ⑤配管内残液回収の標準化⇒廃液量の減少 ⑥工程見直しによる待機時間の短縮⇒時間短縮によりCO2排出量削減
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	①廃棄物削減の目標達成の要因 7. 製品課の実施計画である、「配管内残液回収作業の標準化」により残液ロスの廃棄が減ったことが、削減につながった。 ※廃棄物削減：2009年度比0.08%削減目標に対し 0.09%削減が図れた。 ②CO2削減の目標達成の要因 7. 製造課の実施計画である、「UHT待機時間の短縮」により電力量の削減につながった。 ※CO2削減：2009年度比 0.04%削減目標に対し 0.08%削減が図れた。
事業活動に係る法令の遵守の状況	環境側面に適用される法律・規則・協定を遵守し 法規制より厳しい自主基準を設定し遵守する
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	年1回環境マネジメントレビューを行い、工場長から活動の評価コメントおよびシステムの評価をもらい、システムの見直しを図る。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。